

110 ヤマセミ

(ブッポウソウ目)

兵庫県ランク: A

Megaceryle lugubris

繁殖個体群:A 越冬個体群:A 通過個体群:A

環境省ランク:

種の概要

ヒマラヤ東部から中国南部、インドシナ半島北部、日本などに繁殖分布する。日本では北海道、本州、四国、九州に周年生息し繁殖する。山麓から山地の溪流や水のきれいな河川中流から上流、森林に囲まれた湖沼に生息し、土の崖に穴を掘って営巣する。主に魚類を捕食する。

国内分布

本州、佐渡、四国、九州、対馬、壱岐、甌島列島、種子島、屋久島



写真提供：北野光良

(性別：オス(左)、メス(右))

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、★尼崎市、明石市、★西宮市、★芦屋市、★伊丹市、★相生市、★豊岡市、西脇市、★宝塚市、★三木市、★高砂市、★川西市、小野市、★三田市、★丹波篠山市、★養父市、★丹波市、★朝来市、★宍粟市、たつの市、猪名川町、多可町、★神河町、佐用町、★香美町、★新温泉町、加東市

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特 ぐ特 ら休 環息 境・	局 地 的 繁 殖	希 少
○	○	○			○	○	○	○	○

県内における生息状況およびその他特記事項

BランクからAランクへ変更。

県内では局地的ではあるが周年生息し繁殖する。かつては県中・北部の山間溪流に、個体数は限られているものの、普通に見られていた。近年の河川環境の改変に伴い、個体数、分布域ともに急減しており、局地的消滅の危険度は極めて高い。最近、本種がつかいで生息する河川が著しく減少し、緊急の保全対策が必要とされるため、Aランクへ変更した。

保護上の留意点

河川中上流部の渓流域やダム周辺に生息し、餌場から近い崖地に穴を掘って営巣する。両方が揃う場所が限定されることから、現在の生息域の渓流域の環境と共に水質の保全が必要。既知の繁殖地では、繁殖期における本種の生息水域でのレジャー的な利用などの人の立ち入りを制限することが必要。